

建築研究報告 No. 148 「費用便益分析から導く建物緑化の特性」 を公表しました。

建築研究所では、建物緑化に関する研究成果として建築研究報告「費用便益分析から導く建物緑化の特性」をとりまとめ、ウェブサイトに掲載しました。

建築物の屋上や壁面を緑化するいわゆる「建物緑化」の整備推進のためには、コストに見合うだけのベネフィット（便益）の適正な評価手法の確立が望まれていました。

本研究は、平成 19 年度から 21 年度にかけて実施した基盤研究「建物緑化のライフサイクルコストと経済価値評価に関する研究」の内容を中心に、科研費研究「緑のカーテンによる生活環境改善手法に関する研究（平成 23～25 年度）」の成果の一部を加えた上で、建物緑化の社会的便益の適正な評価手法を導くとともに、これらの成果から建物緑化の特性を明らかにしました。これらの特性からは、従来、建物緑化を始めとする都市緑化は、面積という量の拡充が主に求められてきましたが、質の向上も併せて図られる必要があります、また、単に建物緑化を推進するのみならず、情報の提供や適正な維持管理といったソフト面での体制の充実の重要性が導かれました。

本報告が、建物緑化のより一層の推進のため、関係各位に広く閲覧・活用されることを期待します。

本報告の web 版は、下記 URL よりダウンロード可能です。また、製本版については後日出版予定です。

■ウェブサイト

<http://www.kenken.go.jp/japanese/contents/publications/report/148/index.html>

(内容の問合せ先)

独立行政法人 建築研究所
所属 住宅・都市研究グループ
氏名 加藤真司
電話 029-864-6766
E-mail ms-katou@kenken.go.jp

建築研究報告 No. 148 「費用便益分析から導く建物緑化の特性」

目次

はしがき

目次

研究概要 i

Abstract v

第一章 はじめに 1

第二章 建物緑化の事前評価方法の検討 11

第三章 CVM 調査の妥当性の検証 51

第四章 建物緑化のデザイン性要素の抽出・評価 69

第五章 物理的環境改善効果から導く建物緑化の特性 77

第六章 建物緑化の便益の増進方策 89

第七章 建物緑化の特定機能（誘客機能）の評価手法 109

第八章 結論 121

資料編 129